

会議の概要

会議名	第1回宝塚市民文化芸術振興会議
開催日時	令和5年8月21日(月) 18:30~20:00
開催場所	宝塚市役所3-3会議室
出席委員	(出席) 谷口委員 梅田委員 栗本委員 柳樂委員 秋津委員 越知委員 田中委員 小島委員
公開の可否	可
傍聴者	なし
議題及び結果の概要	<p>1 開会 会議の成立(宝塚市民文化芸術振興会議規則第5条第2項の規定により成立) 会長欠席のため、副会長が議事進行を行う。</p> <p>2 議題 本会議は原則公開であるが、今回傍聴希望者はなし。</p> <p>(1) 宝塚市立文化芸術センター・庭園運営事業の評価について 事務局から資料「宝塚市立文化芸術センター・庭園運営事業に係る評価の取りまとめについて」に基づく説明のあと、意見交換。</p> <p>委員：夕方に行ったが、小学生が前を通っていたり、小さいお子さん連れの方が図書スペースにいたりして、日常の生活空間に溶け込んでいる様子が良かった。文化的であるかどうかは、そのまちを出てはじめてわかることだと思うので、それが日常に溶け込んでいることはすごくいいこと。</p> <p>委員：遠方のため頻繁に行くことはできないので、インスタグラムで祭日の催しを見ていたが、平日がどのような感じかと思い、平日の午前～昼過ぎに行った。図書コーナーも芝生も人がおらず、閑散としており、平日の取組が必要と思った。平日にアウトリーチに取り組むと良い。</p> <p>委員：天気の良い平日に行った。寒い時期で庭園が寂しい時だったかもしれない。また1階が入替時期だったのかもしれないが、人がおらず案内もしていただけなかったので居ていいのか分からない状態だった。人が来た時のおもてなしがあると親近感が湧く。</p> <p>事務局：いただいた評価の中に、庭園の管理に疑問を感じるのご意見があった。ご意見は真摯に受け止め、指定管理者にも伝えるが、元々当施設の庭園はナチュラルガーデン、屋上庭園は原っぱというコンセプトで整備している。屋上の芝生は、現指定管理期間前の大雨で土が流れたため傷んでいる部分があるが、これは市も含めて対応しなければならない。</p>

委員：歴史ウォークの仕事で花がすごく咲いている時期に行き、花のみちのバラや文化芸術センターの花々が綺麗に咲いていて、参加者にも好評だった。建物も低層の独特の形で見晴らしがよく、時期によって全く違う意見だと思って驚いた。

副会長：ランドスケープにおいて今の傾向はナチュラルガーデンになっており、できるだけ手間をかけずに、いい状態を保つという方向にある。

委員：寒い時期の平日に行ったため人が少なかった。小学生が来ており、学校と連携されていることが非常に評価できる。すべての小中学校の見学のコースとなると、宝塚の歴史を理解していただく非常に良い機会になる。今回の企画展は素晴らしく、身近な歴史をしっかりと押さえられていることに好感を持てた。小学校の先生が児童に「昔はよかったけど今は残念だね」と解説しており残念だった。小中学校の先生へのガイダンスをすると良い。

花の季節は地域の方がいらっしゃっているのかなと、感じた。

寒い中でも屋上でご飯を食べている方もいらっしゃったため、愛用されている方もいる様子。西宮に住んでいるため市民への周知についてはわからないが、西宮には情報が一切来ていない。近隣市でも宝塚に愛着を持っている人はいるため、県にも働きかけて、阪急沿線や JR 沿線、民間にも声をかけてたくさん来ていただく工夫が必要。こじんまりとしているが、なんでもできる施設なので、足を延ばせば良い時間をもてるというような企画が必要。

万博などインバウンドが増えていく中で、第2、第3の訪問場所を探す時期。都心部から離れたところで面白いところがあるよと、SNS で1人が発信すればすぐに広がる。

委員：近くに住んでいるが何をしている施設か分からない。この1年間、何度も訪問し注意して見てきたことで、関学初等科の登下校や保育所の遊び場、コーラスのグループなどにも使用されていること、学芸員が頑張っていることも分かったが、知らない人は知らない。

企画展入場者は少なくサポーター会員も減ってきている。鳴り物入りで作ったこの施設が赤字だと市民が聞けばどう思うか。文化活動をしている人だけの施設ではないので、市民に少しでも活用してもらえようようにしたい。周知について SNS との意見があったが年配者向けにはほかの方法も必要。

事務局：指定管理の収支は赤字だが、市としては決まった額の指定管理料を支払っており、市が赤字を負担しているわけではない。

開館当初はコロナの影響で準備していた展覧会を開催できなかったことや、投資などにより赤字となった。令和4年度は改修中の美術館から展覧会を誘致してきたことにより貸館収入が増え、赤字が減った。今年も赤字

を圧縮できると予測しているが、光熱費や物件費の高騰の影響も懸念されるため、指定管理者と連携してやっていきたい。

委員：近くに住んでいるため、視察期間に何度も行った。一番寒い時はガラガラだったが、天気などによって変わるので1回行っただけではわからないと思った。建物には光が降り注いで、清掃も行き届いていて使いやすい。屋上庭園は都会のオアシスみたいで、天気のいい日は深呼吸したくなるような場所。

ナチュラルガーデンに何気なくアザミなどが生えているのが、今はかっこよく、若い人には受けるのだと思った。手書きでも植物名のプレートが増えると良い。

東京の友達を連れて行ったところ、「宝塚は田舎かっこいい。歌劇の休憩時間に屋上庭園に上ってみたい」と言っていた。宣伝上手になればみんなが愛してくれるようになるのでは。

企画展は800円だったが400円にして、薄利多売をコンセプトにすることもできる。

収支についてはコロナ禍からここまで回復したんだと拝見したが、物販はあまり儲かっていない。ときめくようなものが無かった。

SNSでハッシュタグをつけて投稿すると特典がある、などできると良い。

事務局：庭園のネームプレートは、指定管理者が利用者の声を受けて少しずつ増やしている。

委員：アウトリーチで子どもたちと一緒にプレートをつけると、子どもたちが関わっているという意識を持てる。

事務局：当初より、子どもたちにも来てもらえる企画展にしたいと考えていたが、指定管理者との意見の食い違いによりうまくいっていないのが正直なところ。次年度は柔らかいものにしてほしいと強く言っている。とがった展示も評価いただいているが、集客とのバランスが難しい。

パートナー会員を増やすため、年度初めに親子連れに来てもらえるような企画展を行うことを提案している。

コロナ禍で市民サポーターも活動が難しかったが、現在は庭園や図書コーナーの手入れなどをしていただいている。

物販について、1階に飲食のショップがあるが、委員に視察いただいた時期は閉店していた。

小学校の誘致について、昨年度までは予算があったが今年度は予算を取れなかった。来年度から市内学校の作品展を予定しており、以前開催した時には家族みんなで来ていただき宣伝効果があった。

委員：企画展は宝塚にこだわらなくても、むしろ宝塚から発信していくよ

うなことをしては。

委員：施設ができて喜んでいる方はたくさんいるが、税金で運営していることは真摯に受け止めたい。

物販の品物はずっと変わっていないし、芸術に堪能ではないが企画展に行きたいと感じない。

来場者を増やすことが難しければ、事業の仕組みを変えるなど、経済的に考えてみる必要があると思う。

副会長：行政はなるべく税金を使わない目的で民間に預けており、バランスが難しい。

事務局：コロナと光熱費高騰によりどこの公共施設も工夫しながらなんとか持ちこたえたという状況。

1階には人が来られるが2階の企画展には入らないことが課題に思っている。多くの人にアプローチできるようなことをしたい。

事務局：企画展の集客や収益については市としても心配しており、この会議の意見としてまとめていただき、次につなげていきたい。

委員：各展覧会は魅力的なものもあるが、どのようにキュレーションするかが重要。「とがった展示を宝塚から発信」や「ナチュラルガーデン」など、ばらばらに見えることをキュレーションすることで、今あるものでも十分魅力的に見える。

関学の小学生が通るところにオブジェなどアートなものを置くと、大人になってからその意味が分かるかもしれない。

副会長：施設の理念のようなものがあると発信もやりやすい。

委員：この施設は美術館でもアートセンターでもなく、とがった展示や、アートを自然の面からみられる展覧会など、行ったり来たりして、曖昧な感じがする。文化センターとして、他の施設や花のみちを文化でつなぎ合わせる役割があったが、そのハブの役割も果たせていない。

アートにリテラシーの無い人が展覧会に行くことは難しい。市民にも文化芸術を学んでもらう機会、展覧会に行く前の意識を持ってもらう取組や動機付けが根付いていけば見に行く人が増えるかもしれないが、まだまだ行き渡っていない。アートや文化のリテラシー教育をもっとやるべきなのは。

単発で展覧会をしているが、それらを踏まえて年間を通してテーマを決めて進んでいくと良い。

委員：宝塚には歌劇もあり、芸術への市民の意識は高く、文化を望む心は他市よりも強いと思う。それを踏まえてもこの施設の展示は敷居が高すぎる。

委員：失礼な言い方になるが、企画展「宝塚に映画館があったころ」は、良い材料を集めた展覧会なのに、消化しきれずうまくまとめられていないと感じた。テーマは庶民的で良い企画だが、消化不足のままつくられたことで、わかりにくくなってしまった。そういう点について、市として指定管理者に伝えるべき。

宝塚市民はすごく文化的で、知的な事に関心がある。見終わったあと、入館料を払う価値があったと思う展覧会をすれば次もまた行く。リピートしてもらえそうな企画展ができると良い。

また訪問時、1階の吹き抜けが有料なのか無料なのか分からず、出ていってしまった人がいた。オープンスペースかどうかわかりやすく案内すべき。

委員：事務局から意見の食い違いと発言があったが、指定管理者との意思疎通は上手くいっているのか。

事務局：指定管理者に運営を任せていることもある。意見は伝えているが、今年の展示は決まっておりにすぐに変えられるものではなく、来年に向けて言う形になる。

## (2) 評価案について

事務局より、資料「宝塚市立文化芸術センター・庭園運営事業に係る評価について（案）」に基づき説明。

事務局：評価点については、資料「宝塚市立文化芸術センター・庭園管理運営事業 評価一覧」のとおり、委員名を伏せて市に提出する。

本日の意見交換を経て評価点を変更されたい方は当課へご連絡ください。意見については、資料「評価取りまとめ資料」の意見の部分（目標等達成状況は除く）を市に提出する。

なお、指定管理者には各委員の全意見を一覧にして提供する。

副会長：評価の平均点は100点満点換算で58点となっているが、評価点の結果について、基準は設けているか。

事務局：正直なところ厳しい点数だが、委員の評価としてそのまま提出する。

委員：各委員の真摯な意見なので、このまま提出されれば次につながると思う。

	<p>(3) 評価とりまとめ</p> <p>事務局：評価表に記載いただいたご意見と本日の意見交換を踏まえて、評価を取りまとめていただきたいと思いますと考えている。</p> <p>多くの場合は、取りまとめまでを会議内で行うことは時間的に厳しいため、会長に一任という形で、事務局案を各委員に確認いただくこととしているが、今回は会長が欠席のため、議事録等により本日の議事内容を確認いただいた上で、会長及び副会長に一任という形になろうかと思うがどうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>事務局：それでは事務局と会長、副会長で取りまとめ案を作成し、皆様に確認いただいた上で市に提出する。</p> <p>3 閉会</p> <p>事務局：次回の振興会議は年明けに開催する。</p> <p>本日は長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。</p>
--	---